

定住



いつも応援してくれる家族は 私の最強の味方。

午前0時、両親が経営する新聞販売店での朝。新聞広告の差し込み、組み込み、配達業務を終え、一度目の朝が終わります。次の朝は午前9時。営業時間中のチラシ折り込みと事務全般を担います。月末には集金と営業も。その合間に他の活動をしています。

私の取り組みのすべての基準は「おもしろそうかどうか」。小学生の問題を作った新聞に折り込んでいる「できるかなプリント」も同様です。休校中の子どもたちが鉛筆を持つきっかけになればいい

う母の思いつきで、私がプリントを作成したこと、それに共感した父がすぐに紙を仕入れてくれたことで実現しました。初日からろんな声が届きました。ゼロから作ったものが称賛されることや、協力してくれる方がいることが、こんなにも心満たされるということに驚きました。

私が何でも前向きに行動を起こせるのは、いつも応援してくれて、味方してくれる家族がいるからです。これからも生まれ育った小美玉市を拠点に活動していきます。

小川ニュースセンター / 家庭教師

はいしまり
羽石真梨さん

■小美玉市で働くことになったきっかけ
両親が多忙であったところに祖父の介護が必要になり、通勤時間のかかる塾講師を辞め、家業と家庭教師を始めました。

■その他の活動
これまで茨城空港応援大使や地元情報誌の編集、ラジオ出演、撮影モデルなどしてきました。

4月からはFMかしまで毎週水曜日、小川ニュースセンターから中継で、新聞の紙面や地元のスポットを紹介しています。

■高校生へ伝えたいこと
まずは目の前の事に精一杯取り組むことが最優先だと思います。見えない先のことで足踏みするよりも、今の自分にできることを見つけるのが先かな。



←RIKAさんが絵を担当し出版された絵本「はらぺこミミの世界ごはん」。県内書店およびネット書店で販売中。オイルパステルを指で混色する技法による絵本出版は日本初。

「あなたのことが必要です」
その一言がきっかけでした。

正直に言えば、私は地元のこと
にあまり興味がありませんでした。
外の世界に目が向いていて、
自ら積極的に地域のことに関わ
ろうとはしていませんでした。

そんな時に、SNSを通して
私の活動を知っていてくれた方
から、小美玉市が関わる活動
に協力してくれませんかという
依頼を受けました。それが、
先に開催されたヨーグルトサ
ミットの企画の1つ「乳酸菌ア
トプロジェクト」でした。

私の技術が必要とされたこと
の喜び。子どもたちとご家族

の笑顔を見ることができた喜び。
ヨーグルトサミットを企画運営
した皆さんとの一体感を味わえ
た喜び。全てが新鮮でした。

ヨーグルトサミットを通して
出会った人たちと活動するうち
に、私はいつの間にか小美玉市民
であることを誇らしく思うよう
になり、他のまちの人に小美玉の
良さを伝えるようになりました。
そして何かできることはないか
と考えるようになりました。

「あなたのことが必要です」。
その一言が、小美玉を好きに
なるきっかけでした。

チョークアーティスト
RIKAチョークアート工房 主宰

りか きくちりか
RIKA (菊池理香)さん

■この仕事を選んだ理由

小さい頃から絵を描くのが大好きでした。
結婚後、たまたま出会ったチョークアートの
本に目を奪われ、教室に通い始めました。
第一人者のいるオーストラリアに渡って
講師の資格を取り、アーティストとして活
動を始めました。

■仕事の内容

油性のチョークで絵を描きます。受注制作、
レッスン、パフォーマンスが主な仕事。ウェ
ディングやプレゼント、ペットの似顔絵など
の依頼があります。最近では、妖怪「アマビエ」
の絵をSNS投稿したら酒蔵の目に留まって、
日本酒の商品ラベルになりました。

■地元への想い

たとえ一度は外に出たとしても、子どもた
ちがまた戻ってきたくなるような活躍の場を
用意しておくことが大事だと思います。イキ
イキしている人がたくさんいて、自分を生か
せる仕事や場所があれば、きっと戻ってき
たくなるはず。大人も子どもも、「小美玉
いいな」って思ったり発言したりするのが
普通になるといいですね。

セールスデザインコンテスト



ダイヤモンドシティ小美玉の
デザインが、全国95自治体236点
の中から大賞を受賞！

洋服の裏地に付いているネームタグで国内生産シェア1位を誇る福井県坂井市は、ネームタグ等の織物を「越前織」とブランド化し、これを活用して「地域の魅力を発信する名札ストラップのデザイン」を競うコンテストを開催しています。内閣府地方創生推進事務局などが後援。

大賞選考理由

「小美玉」という市の名前と歩んでいきたい未来を「ダイヤモンド」に託し、その中に筑波山や霞ヶ浦を巧みに表現。「ダイヤモンドシティ」というキャッチフレーズとデザイン、そして全体の統一感が抜群。誰もがきらめくようにという願いが表現されており、市民の将来を明るくしたいという気持ちが一目で伝わってくる作品。

島田穰一 小美玉市長

新型コロナウイルスの影響により、厳しい生活・経済の状況が続く中、本市にもたらされた明るいニュースに大変嬉しく感じております。

「ダイヤモンドシティ小美玉」のコンセプトとデザインが高い評価を得たことは、市民のシビックプライドを高め、市民主体のまちづくりを一層進めるエネルギーとなると思っています。

＼ネームストラップ販売中！／



小美玉市祝大賞!! 全国シティ



小美玉
シテイ
ダイヤモンド

見つける。
みがく。
光をあてる。

【デザインのコンセプト】

小美玉市の名前からイメージする「小さく美しい玉」これを宝石の王様であるダイヤモンドに見立て、「人・物・地域資源等の原石を掘り起こし、磨き上げ、光をあてて輝かせていくまちになる」という想いを込めて、「ダイヤモンドシティ小美玉」としてブランディングしています。

カットされたダイヤモンドを上からみたシルエットの中に、ダイヤモンド筑波と霞ヶ浦を配したデザイン。ダイヤモンドのカッティングにあわせたカラフルな配色は、小美玉市で暮らす明るく楽しい日常を象徴しています。見た目にも美しく、かつ楽しさを感じるデザインは、文字どおりダイヤモンドシティらしくキラキラと輝き、小美玉市の明るい未来に光をあてています。

